



平成 21 年 5 月 18 日

各 位

オメガプロジェクト・ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 近藤 宜彰  
(コード番号 6819)  
問い合わせ先  
専務取締役 村上 東 哲  
電話番号 03-3493-3080

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期第4四半期（平成21年1月1日～平成21年3月31日）におきまして、下記のとおり特別損失を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、平成21年2月6日に発表いたしました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の通期業績予想（連結・個別）を修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失の発生について

当社グループを取り巻く経営環境は、従前からのサブプライムローン問題に端を発した世界経済の悪化に加え、昨年秋以降の更なる世界的金融危機の影響により、依然不安定かつ厳しい状況にあります。この度、当社会計監査人との協議の下、リスク管理の厳格化に基づき当社グループの資産状況及び事業進捗・財務状況をより厳密に精査した結果、以下の特別損失を計上いたします。

#### (1) 営業用投資有価証券評価損【連結・個別】

当社グループが事業基盤を置いているアジア圏においても世界的な金融危機の影響により、従前から保有している営業用投資有価証券（短期売買を目的とした有価証券）の一部におきまして、今後のアジア圏の金融市場の動向と回復可能性を慎重に判断した結果、株価下落を要因とした営業用投資有価証券評価損を計上いたします。

	個別	連結
(A) 平成 21 年 3 月期第 4 四半期会計期間（平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の営業用投資有価証券評価損の総額（＝イーロ）	6 百万円	6 百万円
(イ) 平成 21 年 3 月期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）の営業用投資有価証券評価損の総額	89 百万円	89 百万円
(ロ) 直前四半期（平成 21 年 3 月期第 3 四半期）累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の営業用投資有価証券評価損の総額	82 百万円	82 百万円

(注 1) 四半期における有価証券の評価方法は洗替方式を採用しております。

(注 2) 当社の平成21年3月期決算末は、3月31日であります。

純資産額・経常利益・当期純利益に対する割合

	個別	連結
(B) 平成20年3月期末の純資産額 (A/B×100) (イ/B×100)	883百万円 0.7 (%) 10.1 (%)	1,047百万円 6.3 (%) 8.5 (%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100) (イ/C×100)	249百万円 2.5 (%) 35.8 (%)	229百万円 2.8 (%) 38.9 (%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100) (イ/D×100)	133百万円 4.8 (%) 66.9 (%)	114百万円 5.5 (%) 77.9 (%)

(注) 最近に終了した事業年度の経常利益及び当期純利益額が10億円未満であるため、経常利益及び当期純利益の額は、最近5事業年度の平均となっております。(経常損失及び当期純損失が発生している場合は、当該事業年度をゼロとして算出しております。)

(2) 投資有価証券評価損【連結・個別】

当社グループがアジア圏での事業基盤を構築するために、従前から保有しております投資有価証券(中・長期的保有を目的とした有価証券)につきまして売却・回収の可能性を検討した結果、投資有価証券評価損として65百万円を計上いたします。

	個別	連結
(A) 平成21年3月期第4四半期会計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)の投資有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	65百万円	65百万円
(イ) 平成21年3月期累計期間(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の投資有価証券評価損の総額	223百万円	223百万円
(ロ) 直前四半期(平成21年3月期第3四半期)累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)の投資有価証券評価損の総額	158百万円	158百万円

(注1) 四半期における有価証券の評価方法は洗替方式を採用しております。

(注2) 当社の平成21年3月期決算末は、3月31日であります。

純資産額・経常利益・当期純利益に対する割合

	個別	連結
(B) 平成20年3月期末の純資産額 (A/B×100) (イ/B×100)	883百万円 7.4 (%) 25.3 (%)	1,047百万円 6.3 (%) 21.3 (%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100) (イ/C×100)	249百万円 26.3 (%) 89.7 (%)	229百万円 28.6 (%) 97.6 (%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100) (イ/D×100)	133百万円 49.3 (%) 168.0 (%)	114百万円 57.3 (%) 195.4 (%)

(注) 最近に終了した事業年度の経常利益及び当期純利益額が10億円未満であるため、経常利益及び当期純利益の額は、最近5事業年度の平均となっております。(経常損失及び当期純損失が発生している場合は、当該事業年度をゼロとして算出しております。)

(3) 貸倒引当金繰入損【連結・個別】

当社の投資先への貸付金等の回収可能性について厳密に精査した結果、貸付先等の業績悪化等を勘案し、貸倒引当金繰入損として51百万円を計上いたします。

(4) 固定資産に対する減損損失【連結・個別】

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社保有の固定資産について、将来キャッシュ・フローの見積もりに基づく回収可能性を精査した結果、固定資産に対する減損損失として99百万円を計上いたします。

(5) 関係会社株式評価損【個別】

当社グループ会社の財務状況及び業績悪化等を精査した結果、関係会社株式評価損として38百万円を計上いたします。

これらの影響により、連結仕訳を行った結果、個別で合計265百万円、連結で合計229百万円を特別損失として計上いたします。

2. 連結業績予想の修正

(1) 通期累計期間（平成20年4月1日～平成21年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,100	△570	△530	△1,600
今回修正 (B)	3,100	△570	△530	△1,829
増減額 (B-A)	0	0	0	△229
増減率 (%)	0.0	—	—	—
(ご参考) 平成20年3月期末実績	3,747	△1,092	△1,025	△6,240

(2) 修正理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、平成21年2月6日に発表しました通期業績予想通りに推移しましたが、当期純利益におきましては、前述1に記載の特別損失の発生により、予想金額より229百万円減少する見込みです。

3. 個別業績予想の修正

(1) 通期累計期間（平成20年4月1日～平成21年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	340	△450	△410	△1,600
今回修正 (B)	340	△450	△410	△1,865
増減額 (B-A)	0	0	0	△265
増減率 (%)	0.0	—	—	—
(ご参考) 平成20年3月期末実績	1,507	△843	△772	△5,718

(2) 修正理由

売上高、営業利益、経常利益につきましては、平成21年2月6日に発表しました通期業績予想通りに推移しましたが、当期純利益におきましては、前述1に記載の特別損失の発生により、予想金額より265百万円減少する見込みです。

※今回の業績予想修正値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した数値であり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以 上